

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-1  
学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課 前田秀典

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	ふるさと教育推進事業	
目的	(1) 対象	市町村
	(2) 意図	地域の教育資源を活用しながら学校・家庭・地域が一体となった体系的な教育活動を推進し、児童生徒の豊かな心や地域への愛着を培い、学習意欲の向上を図るとともに、自ら課題を見つけ、自ら学び考える児童生徒の育成を進める。
事業概要	県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用し、9年間を通した系統的・発展的な学習活動を行うことで、子どもたちの地域への愛着や地域貢献の意欲を高めるための市町村の取組に対し支援する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 市町村の推進計画に基づき、「ふるさと教育」を実施する市町村立小中学校の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 実施県内全小中学校÷県内全小中学校	実績値	100.0	100.0	100.0			
		達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						%
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	24,861	25,340
うち一般財源(千円)	24,861	14,770

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・全ての市町村でふるさと教育推進計画が策定され、小中学校の全ての学年・学級で年間35時間以上の「ふるさと教育」が実施された。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

・小中9年間のふるさと教育全体計画をもとに各校で特色ある「ふるさと教育」が実施された。  
・「教育魅力化」や「キャリア教育」との関連性も考慮しながら、地域の特長や課題に向き合った活動が見られた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・「ふるさと教育」に関わる地域住民の固定化・高齢化が見られる。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・各地域において、人材を発掘・育成する機能が十分でない。

### ③原因を解消するための「課題」

・新たな地域人材の発掘・育成の働きかけを行う。  
・すぐれた教育活動であるふるさと教育の維持や改良の意志の継続を教員へ働きかける。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・地域住民が当事者意識を更に高め、公民館等を中心として実施する「ふるさと教育」を更に推進する。  
・目指す子ども像やふるさと教育の目的を常に意識して、協力いただく地域住民の発掘・育成や、効果のある教育方法の実施を市町村や学校に働きかける。  
・「教育魅力化」や「キャリア教育」との関連性・連動性を意識した取組となるよう、市町村や学校に働きかける。